

(表紙)

平成 28 年度

# 「校長経営戦略支援予算配付申請書」

大阪市立十三中学校

校長 森 健

平成 28 年 4 月

## 【様式 1】

(所属(市費)コード 642390)

大阪市立十三中学校 平成 28 年度 校長経営戦略支援予算配付申請書(総括)

## 1 学校運営における現状と課題 ※運営に関する計画の 1 学校運営の中期目標欄に記載の現状と課題を再掲

全国学力・学習状況調査（以下、「学力調査」と表す）やチャレンジテストにおいて、本校の各項目平均正答率は大阪府の平均にも及ばず、学力の向上は喫緊の課題である。ただ、部活動や各種の積極的な取組により、生徒の学習環境や意欲は向上しつつあり、校内施策の充実を図ることにより、結果に結びつけることが必要である。

道徳心・社会性の面でも、職員が、自己肯定感を持つ生徒が増加しつつあると感じており、さまざまな教育活動の一層の充実を図る。

健康・体力の面では、毎日決まった時刻に就寝・起床を行う生活習慣の定着が不充分であると言わざるを得ず、「分権型教育行政システムの推進」に則り、区役所と連携してその改善を図る必要がある。

## 2 学校運営の中期目標 ※運営に関する計画の 1 学校運営の中期目標欄に記載の中期目標を再掲

## 【視点 学力の向上】

○平成 28 年度チャレンジテストにおける平均正答率を府レベル以上にする。（カリキュラム改革関連）

○中学校 3 年生での英検 3・4 級程度の英語力を有する生徒の割合を 65% にする。〔現中 2 43% 〕（カリキュラム改革・グローバル化改革関連）

## 【視点 道徳心・社会性の育成】

○学校で認知したいじめについては、解消に向けて組織的に対応している割合を 100% で維持する。（マネジメント改革・学校サポート改革関連）

○学力調査における、「学校の規則を守っていますか」の項目における肯定的な回答の割合を前年度以上にする。〔27 年度 94.6% 〕（マネジメント改革関連）

## 【視点 健康・体力の保持増進】

○学力調査における、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の項目における肯定的な回答の割合を昨年度より向上させる。〔27 年度 「寝る」 72.0% 「起きる」 93.1% 〕（カリキュラム改革関連）

○年度末生徒アンケートにおける、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の項目における肯定的な回答の割合を年度当初より向上させる。（カリキュラム改革関連）

## 【視点 学校に対する関心の高まり】

○学校ホームページの閲覧数を前年度以上にする。〔27 年度 2 月末 23,515 件〕（マネジメント改革関連）

○学校協議会の傍聴人数を 20 人以上にする。（マネジメント改革関連）

### 3 中期目標の達成に向けた年度目標 ※運営に関する計画再掲

#### 【視点 学力の向上】

- 平成28年度チャレンジテストにおける平均正答率を府レベル以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- 中学校3年生での英検3・4級程度の英語力を有する生徒の割合を65%にする。〔現中2 43%〕 (カリキュラム改革・グローバル化改革関連)

#### 【視点 道徳心・社会性の育成】

- 学校で認知したいじめについては、解消に向けて組織的に対応している割合を100%で維持する。 (マネジメント改革・学校サポート改革関連)
- 学力調査における、「学校の規則を守っていますか」の項目における肯定的な回答の割合を前年度以上にする。〔27年度 94.6%〕 (マネジメント改革関連)

#### 【視点 健康・体力の保持増進】

- 学力調査における、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の項目における肯定的な回答の割合を昨年度より向上させる。〔27年度 「寝る」72.0% 「起きる」93.1%〕 (カリキュラム改革関連)
- 年度末生徒アンケートにおける、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の項目における肯定的な回答の割合を年度当初より向上させる。 (カリキュラム改革関連)

#### 【視点 学校に対する関心の高まり】

- 学校ホームページの閲覧数を前年度以上にする。〔27年度2月末 23,515件〕 (マネジメント改革関連)
- 学校協議会の傍聴人数を20人以上にする。 (マネジメント改革関連)

### 4 27年度の自己評価結果の総括 ※27年度の運営に関する計画再掲

本年度の学校運営全体を通して、安定した教育活動を展開することができた。生徒の生活面において個別の課題は種々あるものの、学校総体としては落ち着いた状態を維持することができた。学力の向上については、エブリディ・ホームワークをはじめ、「教科別『学習の進め方』一覧」の作成・配付、生徒会による「十三中学校授業のルール5か条」の策定など、生徒への働きかけを行ってきた。同時に、教員の授業力の向上をめざし、全教員の研究授業を実施するなど、校内体制を整備してきた。このような様々な取組を実施し、一定の成果を上げたものと考えている。学力調査における平均正答率の向上といった具体的な成果も見られる。また、生徒の物事に取り組む姿勢も前向きになってきており、体育大会や文化祭など学校行事の質も高まっている。今後も継続した取組の中であらなる成果につながることをめざす。

德育の推進に関しては、「いじめのない思いやりあふれる集団づくり」を目標に取組を進めている。残念ながらいじめ事案は発生するものの、即座に指導を行い、拡散したり、引きずることがないように対応している。また、服装や日常の行動面においてルールを

守れるようきめ細かく指導を行いつつ、守れたクラスを表彰するなど自主的に規範意識を高める工夫をしている。

「健康・体力の保持増進」については、体力調査における伸びしろがまだあるように思われる。また、朝食の摂食率や睡眠時間の確保という問題については家庭の協力が不可欠であり、保護者への啓発を忍耐強く継続していくが、同時に区の政策（ヨドネル）とのコラボレーションにより、その内容を一段と効果的なものにする。

5 28年度の自己評価結果の総括 ※運営に関する計画再掲(年度末に記述)

6 事業執行管理体制名簿

学校長 ( 森 健 )  
教頭 ( 吉 田 直 史 )  
学校事務職員 ( 山 村 聰 夫 )

申請受付日	
指導部で記入	→ /

【様式 2 - 1】  
(所属(市費)コード 642390)

大阪市立十三中学校 平成 28 年度 校長経営戦略支援予算 【基本配付】配付申請書

年度目標	達成状況
<b>【視点 学力の向上】</b> ○平成 28 年度チャレンジテストにおける平均正答率を府レベル以上にする。 (カリキュラム改革関連)	
○中学校 3 年生での英検 3・4 級程度の英語力を有する生徒の割合を 65% にする。 〔現中 2 43% 〕 (カリキュラム改革・グローバル化改革関連)	
<b>【視点 道徳心・社会性の育成】</b> ○学校で認知したいじめについては、解消に向けて組織的に対応している割合を 100% で維持する。 (マネジメント改革・学校サポート改革関連)	
○学力調査における、「学校の規則を守っていますか」の項目における肯定的な回答の割合を前年度以上にする。 [27 年度 94.6% ] (マネジメント改革関連)	
<b>【視点 健康・体力の保持増進】</b> ○学力調査における、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の項目における肯定的な回答の割合を昨年度より向上させる。 [27 年度 「寝る」 72.0% 「起きる」 93.1% ] (カリキュラム改革関連)	
○年度末生徒アンケートにおける、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の項目における肯定的な回答の割合を年度当初より向上させる。 (カリキュラム改革関連)	
<b>【視点 学校に対する関心の高まり】</b> ○学校ホームページの閲覧数を前年度以上にする。 [27 年度 2 月末 23,515 件] (マネジメント改革関連)	
○学校協議会の傍聴人数を 20 人以上にする。 (マネジメント改革関連)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容① 【区分 基礎・基本の定着】 ○朝学習やその内容から作成した小テストの実施 ○タブレットやプロジェクターなどの I C T を活用した授業の実施 (カリキュラム改革関連)	

**指標**

ICTを活用した授業を、年間のべ50時間以上実施する。

**取組内容②【区分 教員の指導力の充実】**

- 全教員の研究授業の実施
- 教員個々の授業力向上研修の実施  
(マネジメント改革関連)

**指標**

授業アンケートにおける学校平均を前年度以上にする。[27年度 3.28 ]

**取組内容③【区分 問題行動への対応】**

保護者・地域とのコミュニケーションの機会を充実させるとともに、物事に感動したり、他者を思いやることの大切さを実感する場面を創出する。(ガバナンス改革関連)

**指標**

学校管理下における生徒と保護者・地域ボランティアとの直接交流の場を、のべ50回確保する。

**27年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析**

**【年度目標の達成状況】**

- ① 学力調査における「読書は好きですか」の項目における肯定的な回答の割合は、目標に及ばず、全国平均にも届かなかつたため「C」と評価した。
- ② 宿題の提出率は、部分的には目標を達成した学年や時期はあったものの、全体として目標の90%には及ばなかつたため、「C」と評価した。
- ③ 学力調査における平均無解答率は年々着実に改善し、今年は全国レベルに追い付いたため「B」と評価した。
- ④ 授業開始時における「チャイム着席の実行」については、概ね実行できているため「B」と評価した。
- ⑤ 今年度3件発生してしまったが、すぐに学年全体で指導を行った結果、事案は解決しており、「B」と評価した。
- ⑥ 学校管理下で、ほぼ計画通りボランティアとの直接交流の場を設定できており、「B」と評価した。

**【取組の進捗状況】**

- ① 学校図書館の充実をめざして校長経営戦略予算を1点に集中したが承認されず、大きな改善はできなかつたものの、独自予算で少しずつ自主学習センター機能の充実を図っている。また、図書館補助員が配置されたり、朝読書や学校元気アップ事業による読み聞かせを安定的に行っており、取組としては概ね計画通りに進んでいる。
- ② 学力向上委員会を設置し、「エブリディ・ホームワーク」を行っている。また、学校元気アップ事業による自主学習会の実施や保護者アンケートによる家庭学習に対する意

- 識づけに取り組んでいる。
- ③ 朝学習やエブリディ・ホームワークに基づく小テストを実施し、学習意欲の向上に取り組んでいる。
  - ④ 「授業のルール5か条」を設定し、授業規律に対する精神を育成するとともにアクティブ・ラーニングの推進に努めている。
  - ⑤ 「教科別『学習の進め方』一覧」を作成し、新入生や在校生に配付して日常の具体的な学習方法を示すことにより、学力の向上をめざしている。
  - ⑥ 学年教員が多角的にアンテナを張り、いじめ事案の早期発見、早期対応を行ったため、素早い解決に導くことができた。
  - ⑦ 生徒と保護者・地域ボランティアとの直接交流の場を安定的に設けており、順調に取組を進めている。

#### 28年度への改善点

今後も引き続き読書に対する関心・意欲の向上に取り組むとともに、日々の宿題の提出率を高めるために、個別指導のみならず、優秀者の表彰を行うなど、多面的な指導を進めていく。

道徳心、社会性の育成については概ね計画通りに進めることができている。ただし、気を緩めれば状態が悪化することは必定であるため、油断することなく取組を進めていく。

#### 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

#### 次年度（今後）への改善点

### ◆**基本配付申請内容に対応する項目を記載※運営に関する計画再掲**

※シートが1枚に収まらないときは、複数枚になってもさしつかえありません。

【様式 2 - 2】

大阪市立十三中学校 平成 28 年度 校長経営戦略支援予算 【基本配付】配付申請書

**学校配付申請額 656, 400 円**

※配付上限額(※円単位)

学校配当	学級数	学級配当	特別支援学級数	学級配当
300, 000	+	15	×	30, 000

学びサポーター経費

配付上限額	(様式 A 経費合計欄再掲)	学校配付申請額
= 930, 000	— 273, 600	= 656, 400

◆学校配付申請額費目別予算(※円単位)

8-1 報償金	11-1 消耗品費	11-4 印刷製本費	11-6 建物修繕料	12-1 通信運搬費	12-4 手数料	12-7 損害保険料
	125, 900					

13 委託料	14-1 使用料	14-2 船車賃借料	18-2 校用器具費	18-3 図書購入費	合計
450, 000			80, 500		656, 400

◆取組内容・予算内訳

取組内容①【区分 基礎・基本の定着】

- 朝学習やその内容から作成した小テストの実施
- タブレットやプロジェクターなどの I C T を活用した授業の実施  
(カリキュラム改革関連)

取組内容②【区分 教員の指導力の充実】

- 全教員の研究授業の実施
- 教員個々の授業力向上研修の実施  
(マネジメント改革関連)

予算内訳

予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
消耗品費	ビデオカメラ @44, 000	44, 000
消耗品費	ブルーレイレコーダー @45, 000	45, 000
消耗品費	ICT 関係消耗品	36, 900

取組内容③【区分 問題行動への対応】

保護者・地域とのコミュニケーションの機会を充実させるとともに、物事に感動したり、他者を思いやることの大切さを実感する場面を創出する。(ガバナンス改革関連)

## 予算内訳

予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
委託料	芸術鑑賞	450,000
校用器具費	箏（琴） @80,500	80,500
	•	
	•	
	•	

※シートが1枚に収まらないときは、複数枚になってもさしつかえありません。

申請受付日
指導部で記入 → /

【様式 3 - 1】

(所属(市費)コード 6 4 2 3 9 0)

## 大阪市立十三中学校 平成 28 年度 校長経営戦略支援予算 【加算配付】配付申請書

年度目標	達成状況
【視点 学力の向上】	
○平成 28 年度チャレンジテストにおける平均正答率を府レベル以上にする。 (カリキュラム改革関連)	
○中学校 3 年生での英検 3・4 級程度の英語力を有する生徒の割合を 65% にする。 〔現中 2 43% 〕 (カリキュラム改革・グローバル化改革関連)	
【視点 道徳心・社会性の育成】	
○学校で認知したいじめについては、解消に向けて組織的に対応している割合を 100% で維持する。 (マネジメント改革・学校サポート改革関連)	
○学力調査における、「学校の規則を守っていますか」の項目における肯定的な回答の割合を前年度以上にする。 [27 年度 94.6% ] (マネジメント改革関連)	
【視点 健康・体力の保持増進】	
○学力調査における、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の項目における肯定的な回答の割合を昨年度より向上させる。 [27 年度 「寝る」 72.0% 「起きる」 93.1% ] (カリキュラム改革関連)	
○年度末生徒アンケートにおける、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の項目における肯定的な回答の割合を年度当初より向上させる。 (カリキュラム改革関連)	
【視点 学校に対する関心の高まり】	
○学校ホームページの閲覧数を前年度以上にする。 [27 年度 2 月末 23,515 件] (マネジメント改革関連)	
○学校協議会の傍聴人数を 20 人以上にする。 (マネジメント改革関連)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容① 【区分 基礎・基本の定着】 ○朝学習やその内容から作成した小テストの実施 ○タブレットやプロジェクターなどの I C T を活用した授業の実施 (カリキュラム改革関連)	

**指標**

ICTを活用した授業を、年間のべ50時間以上実施する。

**取組内容②【区分 教員の指導力の充実】**

- 全教員の研究授業の実施
- 教員個々の授業力向上研修の実施  
(マネジメント改革関連)

**指標**

授業アンケートにおける学校平均を前年度以上にする。[27年度 3.28 ]

**27年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析**

**【年度目標の達成状況】**

- ① 学力調査における「読書は好きですか」の項目における肯定的な回答の割合は、目標に及ばず、全国平均にも届かなかったため「C」と評価した。
- ② 宿題の提出率は、部分的には目標を達成した学年や時期はあったものの、全体として目標の90%には及ばなかったため、「C」と評価した。
- ③ 学力調査における平均無解答率は年々着実に改善し、今年は全国レベルに追い付いたため「B」と評価した。
- ④ 授業開始時における「チャイム着席の実行」については、概ね実行できているため「B」と評価した。

**【取組の進捗状況】**

- ① 学校図書館の充実をめざして校長経営戦略予算を1点に集中したが承認されず、大きな改善はできなかつたものの、独自予算で少しずつ自主学習センター機能の充実を図っている。また、図書館補助員が配置されたり、朝読書や学校元気アップ事業による読み聞かせを安定的に行っており、取組としては概ね計画通りに進んでいる。
- ② 学力向上委員会を設置し、「エブリディ・ホームワーク」を行っている。また、学校元気アップ事業による自主学習会の実施や保護者アンケートによる家庭学習に対する意識づけに取り組んでいる。
- ③ 朝学習やエブリディ・ホームワークに基づく小テストを実施し、学習意欲の向上に取り組んでいる。
- ④ 「授業のルール5か条」を設定し、授業規律に対する精神を育成するとともにアクティブラーニングの推進に努めている。
- ⑤ 「教科別『学習の進め方』一覧」を作成し、新入生や在校生に配付して日常の具体的な学習方法を示すことにより、学力の向上をめざしている。

## 28年度への改善点

今後も引き続き読書に対する関心・意欲の向上に取り組むとともに、日々の宿題の提出率を高めるために、個別指導のみならず、優秀者の表彰を行うなど、多面的な指導を進めていく。

### **◆加算配付申請内容に対応する項目を記載※運営に関する計画再掲**

※シートが1枚に収まらないときは、複数枚になつてもさしつかえありません。

【様式 3 - 2】

大阪市立 学校 平成 28 年度 校長経営戦略支援予算 【加算配付】配付申請書

**学校配付申請額 1,354,104 円**

◆学校配付申請額費目別予算(※円単位)

8-1 報償金	11-1 消耗品費	11-4 印刷製本費	11-6 建物修繕料	12-1 通信運搬費	12-4 手数料	12-7 損害保険料
	308,664					

13 委託料	14-1 使用料	14-2 船車賃借料	18-2 校用器具費	18-3 図書購入費	合計
			1,045,440		1,354,104

◆取組内容・予算内訳

取組内容①【区分 基礎・基本の定着】

- 朝学習やその内容から作成した小テストの実施
- タブレットやプロジェクターなどの I C T を活用した授業の実施  
(カリキュラム改革関連)

取組内容②【区分 教員の指導力の充実】

- 全教員の研究授業の実施
- 教員個々の授業力向上研修の実施  
(マネジメント改革関連)

予算内訳

予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
校用器具費	簡易型電子黒板 @224,640 × 2	449,280
校用器具費	ワイヤレス書画カメラ @83,160 × 2	166,320
消耗品費	スクリーン @38,880 × 5	194,400
校用器具費	カラー拡大機 @429,840	429,840
消耗品費	インクタンク @8,424 × 2	16,848
消耗品費	インクタンク @7,452 × 8	59,616
消耗品費	専用ロール紙 @18,900 × 2	37,800

•  
•  
•

※シートが1枚に収まらないときは、複数枚になつてもさしつかえありません。

【様式 3 - 3】

大阪市立十三中学校 平成 28 年度 校長経営戦略支援予算 【加算配付】配付申請書  
(補足説明資料)

延長された「教育振興基本計画」に基づき、今年度、タブレットや授業用パソコン、大型テレビやプロジェクターが導入されている状況を好機ととらえ、必要な付属備品等を本予算で整備することにより、さらに効果的に ICT を活用した授業内容の充実およびそれを使用する教員のリテラシーを向上させることを目標としている。備品の品目については、先進モデル校の助言を受けて決定した。

さらに本校ではインクルーシブ教育にも力を入れており、障がいをグラデーションととらえ、とりわけ ICT による視聴覚を重視した教科指導により、すべての子どもの学力向上に資することができると考えている。

木原教授より

- ・中期目標にリンクさせる。
- ・台数などの根拠（学級数など）を大胆に
- ・もっと必死さを出す。